

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所／一般社団法人 福商会 発行責任者／後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092(711)9890 FAX : 092(711)9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.166
(2013年 5月発行)



写真提供: 都地義彰さん(44回生)

福岡市文学館(赤煉瓦文化館)

歓迎!

111回生 入会おめでとう

今年卒業の315人が福商会へ



福商会入会式

卒業式を3月1日にひかえた2月27日(水)に、111回生(総合学科第1期生)315人(男127人・女子188人)の福商会入会式を福翔高校(多目的ホール)で開催しました。

学校からは井上直輝校長はじめ3年生クラス担任の先生方、宮園智久父母教師会会長ほかPTA役員、福商会から山口毅理事長、高木不二男副理事長、宇土健治副理事長、後藤



井上校長

幹生専務理事のほか体育部OB会長、母校活性化委員会役員らが出席しました。

司会者は鬼木望根子さん(79回生)

の進行のもと「国歌斉唱」の後、山口理事長から福商会入会のお祝いの言葉と福商会を代表して、福商会の歴史と福商会館の建設の背景と、福商100周年記念誌の説明、福商会報の話や、「福商会の先輩方との絆を深める努力をするため、福商100周年記念誌などを読んで情報を得てほしい」との言葉がありました。



入会式会場

井上校長からは、福博経済界の重鎮を生み出している福翔高校の先輩方と、今後卒業していく後輩の皆さんの縦の会の



青木事務長

つながりを大事にして欲しいとの言葉がありました。福翔卒業生として胸をはって生きていくことと福商会とのつながりを大事にしてほしい旨の言葉がありました。

次に司会者から福商会役員(6人)と運動部OB会長と、その他の出席者らの紹介がありました。

青木事務長(66回生)からは先輩として「継続は力なり」の言葉で、社会に出てもなにか「趣味、運動」を続け、周りに認められ、自分にも誇りを持つよう頑張ってくださいとの話がありました。その後「福商会館の案内パンフ」「福商会会員名簿」をもとに福商会の役割、事業内容の説明、福商会名簿の充実に向けて、転居の際にはスマートフォンを利用して、福商会ホームページから住所変更の方法などの話がありました。

新会員を代表して平野智哉君から、盛大な入会式を開催していただいたことに感謝の言葉と、福商会の一員に加わった自覚と



入会生 平野智哉君

今後成長していくことを力強く語りました。最後に全員で校歌を四番まで高らかに歌い、入会式を終了しました。

母校は心の支え

第10回「福商縦の糸の会」



後藤幹生さん(55回生)



講演風景



さくら会の皆さん



会場風景



山口理事長

2月1日(金)八仙閣(博多区)で恒例の「福商縦の糸の会」を同窓生、福翔高校の関係者の出席のもと134人が集まり盛大に行われました。

第一部は福商会の専務理事で前大野城市市長の後藤幹生氏(55回生)による「母校は心の支え」の演題で講演をいただきました。

鬼木望根子さん(79回生)の司会により、山口理事長から開会あいさつがあり、その後、宇土副理事長(66回生)から福商会の活動報告、司会者から講師のプロフィールの紹介があったのち、講演に移りました。

◆
◆
生い立ちから母親の躰しむに始まり、幼少期に那珂川町で育った教育環境について話をされ、福商高校ではラクビー部に所属し、身体を鍛えたことが今の強健な体のもとになった。社会人になり、大野城市役所勤務を長く務めた後に、福商OB・OG皆様の応援で、大野城市長に当選した話を具体例を用いて熱く語られました。

市長時代での功績も少し披露いただきましたが、やはり福商あがりの応援、支援があつての賜と感謝の言葉が講演の端ほしに出ています。

現在、福商会専務理事の要職にあるのも、市長選挙の際の福商会支援に対する恩返しで、現在に至っているとのお言葉があり「母校は心の支え」をモットーに現在まで活躍いただいています。

第2部は懇親会に移り、花村清二さん(41回生)から乾杯のご発声を頂き、懇親の輪がテーブルごとに広がっていきました。

福翔高校の井上直輝校長からご出席いただいた教師の紹介がありました。

さくら会からは平田哲子さん(64回生)のあいさつ、6月の全国合同同大窓会当番幹事長の西宏史さん(88回生)のあいさつが続ぎ、応援団OB3人のリードで校歌を高らかに歌いあげました。

最後に博多祝い歌を廣田昭俊さん(60回生)渡口史郎さん(70回生)光安忠幸さん(80回生)の3人で歌われ、梅津和義さん(51回生)の博多手一本で会が終了しました。

新校長就任挨拶

「進学型の総合学科高校として『文武両道』を体現する生徒が数多く活躍する高校」をめざして



福岡市立福翔高等学校
校長 谷本 昇

福商会の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から母校並びに後輩たちに対しまして、物心両面にわたるご支援、ご援助を賜り、深く感謝申し上げます。

平成25年4月1日付で本校第27代校長に就任いたしました。平成21年4月に民間企業から福岡市に市立高校管理職として採用され、福翔高校に教頭として着任し、教頭2年間、副校長を2年間勤めさせていただきました。この4年間の経験を活かし「学校、教職員、子どもたち」のために、校長として職責を果たす覚悟です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、本校は明治33年に福岡市商業学校として開校し、今年創立113年目を迎えます。その間、常に新しい時代の流れを見

据え、その変化に対応しながら、充実発展の歴史を積み重ね、輝かしい伝統を築いてきました。しかし、今の時代の中で、市立高校を囲む環境は非常に厳しいものがありません。本校も学校の特徴をしっかりと打ち出し、子どもたちの「進路保障」ができる高校にならなければ、市民の信頼を得られず、県立高校、私立高校との競争の中で埋もれてしまいます。創立120年、130年、150年を迎えられるように「真の文武両道」にスピードを上げて取り組んでまいります。

現在、教育改革の途中ではありますが、教員と子どもたちの頑張りにより「進学、就職、部活動」と確実に成果が出ています。今年からは「平成の福翔改革サードステージ」と位置づけ、教育改革を更に推進していきます。本年度は以下の方針、重点目標を掲げ取り組むこととしています。

○志を持ち、自らの目標を達成しようとする生徒と、意欲的、建設的に学校運営に参画する教職員の協働により『熱意・力』の校訓を具現化する学校をつくる。

そのために、すべての教職員が元気で生徒が安心して学べ、成長できる学習環境づくりと学力向上による進路実現をめざ

し、生徒に誇りと自信を持たせる教育活動を実践する。また、市民からの期待と信頼をさらに高めるために、「福翔改革サードステージ」を推進し、本校の新たな歴史を切り開く学校づくりを進める。

本年度重点目標

○和の学校運営と「希望進路の実現と部活動の活性化」

▼校長を中心に調和のとれた運営を行うとともに、生徒の進路実現を最重点にし、進学では、九州大学を含む国立大学30人以上を目標に、就職では内定率100%を目標に再挑戦をし、全教員で努力を継続する。

▼部活動の活性化を推進する。(体制、活動等)

福商会報 Vol.166 CONTENTS

福商会入会式	2
縦の糸の会	3
新校長就任挨拶	4
理事会報告	5
学園だより	6~8
投稿・告知	9・10
さくら会だより	11
同窓会だより	10~13
同舟往来	14・15
歴史資料室創設	16~18
会費納入者	19~21
110周年募金納入者	22~26
企業紹介	27

創業125周年
imai
PRINTING

代表取締役 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社

〒812-0041 福岡市博多区吉塚7丁目3番70号
TEL 092-624-8292 FAX 092-624-8293

TEL 092(711)9890
FAX 092(711)9266

広告掲載を募集しています。
広告掲載料は1万円です。
お問い合わせは福商会事務局まで。

理事会開催

2月1日(金)八仙閣(博多区)で定例の理事会を開催しました。

山口理事長の開会の挨拶に続き、定款の規定により議長は山口理事長、議事録署名人は出席監事渡邊佳道さん(54回生)山田康夫さん(57回生)の2人を選任しました。

今回議案審議はなく、青木事務長から報告事項の説明がありました。

報告事項

①平成24年度事業・会議等実施報告
(4月1日～12月31日)

昨年5月から開始した福翔歴史資料室準備委員会を16回ほど開催し、今年3月末完成を目指している状況を報告。

②収支計算書(4月1日～12月31日)で110周年記念事業の寄付金収入と事業支出を貸借対照表と関連付けて報告

福翔歴史資料室の現況写真を理事に回覧し、3月までの支出予定金額を説明。

3月の決算見込みを予算額と対比して説明。

③5月の代議員総会で理事ほか全役員の任期が到来するので、理事、代議員候補者を2月末までに福商会まで連絡するよう依頼

④全国合同同窓大会チケットの各回生への割当表を配布

⑤福商会年会費の各回生の納入状況。

⑥福商会ホームページを利用した投稿、住所変更の方法を福商会報の裏面に掲載したことを説明し、今後の利用促進を依頼した。

最後に、山口理事長から5月に役員改選が行われるが、今期で理事長職を辞する旨の発言があり、理事長選任委員会の立ち上げを要望された。



体育部4部へ 強化費を支給

2月27日(水)福翔高校で体育4部(野球、サッカー、剣道、バスケットボール)のOB学生会長、事務局長、保護者会代表、福翔高校監督(顧問)らが集まり、平成25年度の体育強化費を支給しました。初めに24年度の各運動部の活躍ぶりが福翔高校監督より発表があり、次に各OB学生会長から25年度

の抱負と自己紹介がありました。

最近OB学生会長に就任された野球部江口正秀さん(73回生)サッカー部塚本正和さん(86回生)からは強化にむけて力強い決意が披露されました。

山口理事長からは強化費を支給している運動4部について、近年成績が上がっていることに対し、福商会として喜ばしいとの言葉がありました。

新年度になっても保護者、学校、OB会の連携を一層強化され、全国大会出場に向けて大いに努力をしてほしいとの激励の言葉で締められました。



躍進する
柏屋グループ { 総合建設業・木材業
不動産業・アバマン柏屋店

一級建築士事務所

柏屋殖産株式会社

会長 篠原隆義 (54回生)

本社 糟屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表)092-621-1331番



本造りのプロフェッショナル

正光印刷株式会社

本社/福岡市西区周船寺3丁目28番1号
営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
糸島市波多江駅北3丁目16-3
TEL 092-741-3266

藤村みつの (53回生)

紙与産業株式会社 紙与不動産株式会社

代表取締役会長 渡邊 與三郎 (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話 (092) 721-4531番

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

平成24年度
進学・就職状況

進学状況

快挙!!

国立大学25人、西南学院大学100人、福岡大学240人が合格という素晴らしい結果でした。同窓会、学校現場の一体となった想いが実を結んだのだと思っております。

25年度、更なる飛躍をお約束します。



国公立4年制大学

学校名	人数
佐賀大学	11
長崎大学	3
福岡教育大学	2
鹿屋体育大学	2
東京外国語大学	1
九州大学	1
熊本大学	1
福岡女子大学	1
九州工業大学	1
名城大学	1
琉球大学	1
計	25

私立4年制大学

学校名	人数
福岡大学	240 (3)
西南学院大学	100
筑紫女学園大学	38
九州産業大学	88 (2)
久留米大学	61 (2)
福岡女学院大学	21 (2)
福岡工業大学	13
中村学園大学	18
岡山理科大学	5
立命館アジア太平洋大学	5
近畿大学	5 (4)
九州共立大学	7
国際医療福祉大学	5
東海大学	4
甲南大学	3
獨協大学	3
福岡女学院看護大学	3
久留米工業大学	2
学習院大学	1
早稲田大学	1
青山学院大学	3
上智大学	1
明治大学	4
中央大学	1
関西大学	2
関西学院大学	3 (2)
同志社大学	4 (1)
立命館大学	5
その他大学	47 (1)
計	693 (17)

進学状況一覧



国公立4年制大学	25
私立4年制大学	693
短期大学	21
専門学校	64
合計	803

専門学校

学校名	人数
看護医療系専門学校	計23
計	64

※()内は過年度生の内数

短期大学

学校名	人数
香蘭女子短期大学	5
中村学園大学短期大学部	9
筑紫女学園大学短期大学部	3
福岡女子短期大学	1
精華女子短期大学	1
福岡医療短期大学	2
計	21

就職状況一覧

学校紹介求人	23
自己・縁故等	6
公務員	4
合計	33

就職状況

内定率 100% (学校紹介分)

高卒者に対する厳しい就職環境のなか、年内(平成24年12月末)に100%を達成。



千-70にもいろいろ
あります...

福岡テープ株式会社

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

取締役 糸永 清二 (55回生)
福岡市博多区那珂3丁目2-4
TEL 092-411-3929(代)

福翔高校の
更なる発展を
お祈りいたします



前校長 井上 直輝

福商会の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。母校福翔高校に対し、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私事、平成25年4月1日付で福岡市立福岡西陵高等学校の第13代校長として着任いたしました。特に3年間の校長としての在任期間中は、福商会の皆様へ一方ならぬご支援とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

福翔高校には、前身の福岡商業高校時代から、商業科の教諭として20年、教頭として2年、校長として3年、あわせて25年間という四半世紀の長きにわたり、大変お世話になりました。私の人生は、福岡商業高校そして福翔高校を抜きにしては語れません。

特に校長として着任した平成22年度には、

創立100周年の節目の年を迎えるという栄誉を得て、記念式典等の行事を福商会並びに父母教師会の皆様方のご支援とご協力により挙行することができました。また、新しい玄関前の整備や歴史資料室の開設など、福岡市並びに福商会の皆様のご尽力をいただき心から感謝申し上げます。

教育に対する情熱あふれる先生方と素直な生徒たち、そして心温まる福商会、父母教師会の皆様により育まれながら、充実した幸せな3年間、そして25年間でした。

福翔高校は、進取の気性と自由闊達な気風の中、これまで情報処理科の設置、普通科の設置、総合学科への改編など時代の変化を見据え、それぞれの時代に対応した教育をおこない、社会の発展に寄与する有為な人材を輩出する伝統校として歴史を刻んできました。そして、その改革は止まることなく、今年度からは「福翔改革サードステージ」として、新たな学校像を模索しながら脱皮していきます。

福商会の皆様には引き続き母校福翔高校に対し、変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

今後の福翔高校のますますの発展を祈念いたしますとともに、福商会の発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。



平成25年度人事異動

平成25年4月1日付

昇任

谷本 昇 校長
副校長より
幾島 賢次 副校長
教頭より

転出

井上 直輝 校長
福岡西陵高校へ
平尾 博文 主幹教諭
福岡市教育委員会へ
西田 布美先生
福岡女子高校へ
八田 智弘先生
博多工業高校へ
井手 大輔先生
福岡西陵高校へ
村田 達哉先生
舞鶴中学校へ
松藤 毅彦先生
友泉中学校へ
山本 実喜夫さん(技術吏員)
百道中学校へ
田中 大介さん(技術吏員)
西花畑小学校へ

転入

重枝 一郎 教頭
姪浜中学校より(教頭)
深堀 英則 事務長
経済観光文化局産業振興部より(振興課長)
手島 政則 主幹教諭
福岡市教育委員会より
大西 知哲先生
福岡西陵高校より(理科)

狩集 幸子先生
福岡西陵高校より(国語科)

小島 匡広先生
福岡西陵高校より(数学科)

納富 美奈子先生
福岡西陵高校より(英語科)

松末 香織先生
福岡女子高校講師より(地歴科)

近松 幸先生
中学校教諭より(数学科)

川端 豊先生
福岡女子高校講師より(英語科)

吉田 成完先生
中学校講師より(理科)

楠本 征爾さん(技術吏員)
原中央中学校より

岩室 淳也さん(技術吏員)
東吉塚小学校より

長い間ご苦勞様でした。

黒岩 貴幸 事務長(定年)

河村 敬一先生(定年)

三浦 文雄先生(定年)

寺田 弘幸先生(定年)

土山 みち子さん(定年)

退職

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂

代表取締役 会長 中島 勝 敏 (55回生)

〒812-0044 福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055 長崎営業所 諫早市小川町 700-49 TEL・FAX0957-21-0675

福商会新入会員紹介

今春卒業し、新会員になった111回生の皆さんからコメントをいただきました。皆さんの入会を心から歓迎いたします。

1.氏名 2.福翔高校の思い出 3.進学・就職先 4.今年の抱負 5.これからの目標



3年1組

- 1 佐田 遥 (さだ はるか)さん
- 2 数々の行事
- 3 誠新産業(株)
- 4 新しい環境に慣れ、立派な社会人になる
- 5 日本一のキャリアガールになる



3年2組

- 1 小川 拓哉 (おがわ たくや)さん
- 2 最高の仲間と共にできたサッカー部での部活動
- 3 航空自衛隊
- 4 厳しい訓練に耐え抜く
- 5 人のために魂を込めて働く



3年3組

- 1 岡本 万里奈 (おかもと まりな)さん
- 2 部活動(体操部)、クラスでたくさん笑ったこと
- 3 香蘭女子短期大学 食物栄養学科
- 4 早く新しい環境に慣れて、努力を重ねる
- 5 支えられる人から支える人になる



3年4組

- 1 岡 実咲 (おか みさき)さん
- 2 体高祭でみんなと団結したこと
- 3 九州産業大学 商学部観光産業学科
- 4 有意実行
- 5 何事にも前向きに挑戦する



3年5組

- 1 下田 夢女 (しもだ ゆうめ)さん
- 2 3年間、部活動で頑張ったこと
- 3 福岡大学 商学部
- 4 自分の将来のための基礎づくりに励む
- 5 社会に出ても恥ずかしくないような立派な大人になる



3年6組

- 1 諸山 千晃 (もろやま ちあき)さん
- 2 部活動、クラスの仲間と楽しく過ごしたこと
- 3 福岡看護専門学校
- 4 新生活に慣れ、勉強をコツコツと頑張る。どんな時でも笑顔で乗り越える!
- 5 笑顔のたえない信頼される看護師になる



3年7組

- 1 牧 麦 (まき ばく)さん
- 2 青柳との体育祭
- 3 筑波大学
- 4 最初に決めた目標をやりとおす
- 5 有意実行



3年8組

- 1 上野 一希 (うえの かずき)さん
- 2 多くのことを学んだ部活動
- 3 福岡大学
- 4 人に頼り過ぎないようにする
- 5 後悔しない生き方をする



3年9組

- 1 松尾 明宣 (まつお あきのぶ)さん
- 2 剣道部での3年間
- 3 鹿屋体育大学
- 4 早く大学生活に慣れ、何事も真つ正面から向かっていく
- 5 剣道部で学んだことを活かす

福翔高等学校体育・文化部活動成績《2012年12月～2013年3月》

剣道部

- ◆新人戦剣道大会 12月9日(日) 行橋市民体育館
(女子団体) 1回戦 福翔 2-0 祐誠
2回戦 福翔 4-1 北九州
準々決勝 福翔 1-1 西短大附 代表戦負け ※ベスト8

男子サッカー

- ◆福岡県高等学校サッカー新人大会 1月20日(日) 福岡フットボールセンター
第2回戦 ○福翔 3-0 小倉
- ◆福岡県高等学校サッカー新人大会 1月26日(土) 福岡フットボールセンター
第3回戦 ○福翔 3-0 筑前
- ◆福岡県高等学校サッカー新人大会 2月2日(土) 福岡フットボールセンター
準々決勝 ×福翔 1-2 東海大第5 ※ベスト8

男子バスケットボール

- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月13日(日) 自由が丘高校
○福翔 61-56 西南学院
○福翔 81-80 直方 ※ベスト4 九州大会出場決定
- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月19日(土) 戸畑高校
×福翔 60-82 福大大濠
- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月20日(日) 戸畑高校
×福翔 57-82 福岡第一
×福翔 76-83 宗像 ※第4位
- ◆福岡県バスケットボール新人九州大会 2月16日(土) 大分県総合体育館
○福翔 81-63 伊集院
○福翔 86-76 玉名工業

- ◆福岡県バスケットボール新人九州大会 2月17日(日) ベっぷアリーナ
×福翔 73-77 糸満
×福翔 66-104 宗像 ※Bパート第3位

女子バスケットボール

- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月12日(土)
九州国際大学平野記念体育館
○福翔 59-47 直方
- ◆福岡県バスケットボール新人大会 1月13日(日)
九州国際大学平野記念体育館
×福翔 48-100 精華女子 ※県ベスト16

英会話部

- 第38回英語弁論大会 12月2日(日) 福岡アジア美術館アジビホール
「アメリカオークランド賞」 渡邊春香

簿記電卓部

- 福岡県簿記競技会新人戦 12月23日(日) 福岡工業大学
(団体戦成績) 生田明日花 山田理絵 吉田百佳 ※4位入賞
(個人戦成績) 生田明日花 2位
山田理絵 26位
吉田百佳 18位

東京支部合同同窓会

日時 平成25年6月15日(土)

12時より(受付開始11時30分)

会場 銀座ライオン 音楽ビヤラザ

〒03(05)73(5)5555

今年はお催し内容が変更になりましたので注意してください。

住所 東京都中央区銀座7丁目9-20

銀座ライオンビル5階

銀座六丁目交差点の角

会費 80歳以上…無料

1人……………5,000円

(同伴者2,500円)

1-11回生…無料

維持会費……………2,000円

(平成24、25年度2年間分ただし通信会費を納入の方は会場で確認下さい。)

事務局 片山紀雄(59回生)

当番幹事 72、73、74回生

70回生還暦同窓会

日時 平成25年11月2日(土)

午後6時

会場 西鉄グランドホテル

福岡市中央区大名2-6-60

☎092(781)0711

幹事代表 山川 玲子(5組)

問い合わせ先

渡口 史郎(6組)

中村(武田)潤子

先輩に助けられて

●まずは基本文字

速記に小生が出会ったのは福商二年(昭和18年)のころ、同じ篠栗線で通学していた三年先輩の藤田寛さん。「速記を覚えなにか」と基本文字を書いた紙を渡された。それで練習を始めたが、基本文字だけでは早く書けない。三年になったのを機会に、速記部に入った。ところが6月になると工場動員となり、学校には全く行かず、工場で旋盤と取り組む毎日だった。

●タ力をくくって油断

終戦後(昭和20年8月)学校に戻った。福商には17年の第十一回全国中根式速記大会で、四年先輩の山内盛行さんが優勝され、本校に優勝旗があることを知った。でも戦後の混乱期で、小生らが卒業するまでは速記の全国大会はないだろうとタ力をくくって、練習は余りしなかった。

●輝かしい先輩の成績

21年11月8日、突然職員室に呼び出された。速記部部長の住田先生から、全国大会開催を知らせる八ガキを見せられ、びっくり仰天。しかも大会まで二カ月足らず。優

勝旗を持って大会に挑むのに、ぶざまな成績では済まされない。さらに十一回大会までの福商の成績を調べて見ると、優勝が四回、2位も四回、3位が三回と、いずれの回も3位以上の成績だった。それから猛練習をしたことは申すまでもない。

●大会用原稿のみの練習

住田先生がコーチをつけてくれた。福中(現在の福高)から九大を出た豊島先生(現在の福高)から九大を出た豊島先生。練習は大会用のみで本当の実力はつかなかった。戦前の練習は、官報に掲載された国会の質疑応答の速記録が主だった。大会用とは「選手諸君、日本の将来は諸君の双肩にかかっています」といったような、パターナ化した文章だった。

●先輩からの激励

練習を始めてからは、西日本新聞社在勤の先輩が、入れ替わり立ち替わり、指導に来てくれた。そればかりか仕事で使った紙(裏側を使える)を持ってきてくれた。紙不足の折りだっただけに大助かりした。

23年7月の篠栗町夏祭りの夜、西日本新聞社から採用通知が届いた。速記の実力は話にならぬほど低かったが、戦後の人材不足で運良く勤務することになった。

●入社後も先輩が協力

入社してからは、少しでも早く速記力を向上させようと、勤務時間の2時間前(午前10時ごろ)出社し、宿直明けの先輩から新聞を読んでもらって練習した。宿直明けで疲れているはずの先輩が快く応じてくれた。やっと一人前と認められるようになるまで一年ほどかかった。

●有意義だった東京勤務

入社五年半、先輩の部長から「東京勤務」を命じられた。同期入社の人を差し置いての異動を先輩は喜んでくれた。それまでは無趣味に近かった小生は、いろんなこと、例えば歌舞伎、クラシック音楽、旅行などの趣味を身につけることができた。

ここまで見てきて、いかに先輩の協力を得られたか。有難い先輩に恵まれた小生は幸せ者だ。

西嶋 三七男(45回生)



「もめない遺言」
〜ちょっと三分間の耳寄りな話〜



最近、新聞雑誌などで相続のトラブルに関する記事が目につくが、私の信託銀行現役

時代の相続実務の経験からいうと、財産が多かろうが少なかろうが、遺言がないと争族人になって、いつまでも財産の分配ができずに争続となるケースがほとんどであった。

なぜもめるかという点、公平な財産の分配になっていないからである。遺産分割は法定相続分どおりにすれば公平じゃないの？というが、これが不公平なのである。

生前に被相続人から贈与を受けている人がいたり、被相続人の財産形成に寄与したり、療養・看護に務めるなど貢献している人もあり、それぞれの経済的価値判断や調整がむずかしいうえに、遺産分割の基準である財産の種類、年齢、職業、心身の状態、生活状況等の事情を考慮していかないからである。

だから、家族のことをよく把握している本人が、元気で認知症になる前に、公平な遺言を書いておくことが大事ということになる。

うちの家族に限ってもめる心配はないよ！という人もいるが、これが当てにならない。仲の良い兄弟姉妹たちが、こと相続に関してはこちらが相続人のほか、相続人を助言？する助っ人が現れ、外野席を含めた多勢の人たちが戦闘モードに豹変するからである。

だが、遺言は書けばいいというものではない。

い。どついう方法で書くかである。

初めての人は自筆の遺言書が簡単であるが、公正証書でないとなメなときもある。手が不自由な人や口がきけない人の場合は、公正人に公正証書遺言を作成してもらおうことになる。

そこで費用のかからない自筆証書遺言であるが、ポイントは次のとおりである。

- ①全文を自筆で書く。訂正しないように。
- ②書き終わったら日付、署名、押印する。
- ③出来上がったら封筒に入れ封印、割印し大切に保管または遺言執行者など信頼できる人に保管してもらう。

以上であるが、遺言内容を確実に実現してもらうため、遺言で遺言執行者（信頼できる人なら誰でもよい）を指定しておくことが重要である。

なお、遺言としての効力はないが、遺言の趣旨、家族への思い、感謝の気持ちなどを「付言事項」として皆が納得できるように記載しておくことも大切である。

以上の要領で書けば、**もめない**（断言できないが）**遺言書**が出来上がる。

さらに、別途、ノートやメモを用意し、遺言書に書けない事項を記載しておくこと、相続手続きがスムーズにできる。主な記載事項は略歴書、出生時の本籍地・戸籍筆頭者、PCデータ、ログインID・パスワードの取扱い、重要キー・物、蔵書、アルバムなどの処理方法、友人等の名簿・連絡先などである。

またの方は、思いやりのある遺言にチャレンジされては如何でしょうか。気持ちが入ります。

樺田 康義（53回生）

同窓会だより

福商58回生1組・同窓会

4月14日（日）午後6時より、四季を彩る絶景と天然湧水・展望大浴場で話題の湧水「千石の郷」早良区石釜で開催しました。毎年恒例の楽しい「クラス同窓会」で、今回のタイトルは「6回目の巳年」に乾杯！同窓会と致しました。男子10人、女子2人、合計12人の「熱・意気力」の元気な顔が集合、各位の協力で盛大に終了できましたことを感謝と共に報告致します。

今回は、会場のご好意で宴会時の持ち込みは日本酒のみOKとなりましたので、この際思い切って、福島県喜多方市、小原酒造の銘酒「特別純米アマデウス蔵粋（クラシック）」を通販で取り寄せました。

この「蔵粋（クラシック）」は、もろみの段階でモーツァルトを十分に聴いて育った音楽酒なのです。もろみにモーツァルトを聴かせると酵母の増殖が活発になり、フルーツの香りが強くなる高泡の状態が長く続くようになり、酵母の死滅率が低くなるために雑味が少なくなり、大変フルーティーでおいしいお酒がで上がるというわけ。ちなみに「全国酒類コンクール」で、グランプリ受賞の逸品です。心を癒すおもてなしの会席料理とあいまって記憶に残る宴会となりました。

なお宴会終了後は、部屋の一室に集合して引き続き懇談会へ。本場鹿児島焼酎の銘



平成25年
2013.04.14
湧水 千石の郷

森 彬

酒、音楽仕込み、「田苑」（由来は、ベートーヴェンの交響曲「田園」を聴いて育った焼酎）を、お湯割り＆水割りロックのお好みで賞味しつつ、明日の「ゴルフ組」と「坊主ヶ滝の観光組」の楽しい語り合いです。

宴会時間3時間半（飲み放題十カラオケ）の楽しいひと時のあと、校歌、応援歌、祝歌、博多手一本で中締め。お互いの健康に感謝しつつ、次回は来年5月15日（木）の再会を誓って散会しました。



さくら会だより

さくら会は、誰でも気軽に参加できる会。皆さんの参加を是非お待ちしております。

「フクシヨウアラカルト」校歌を中心として「開催

―校歌の由来―

明治42年四代目太田校長時代に今の校歌が公募により誕生しました。

―校訓について―

熱 || 信念・情熱

意 || 強くあれ・生きがい

力 || 継続・全力

すなわち

校訓は人生訓でもあり、学生時代に大地に強い根幹をとの想いが絆の歌(歌詞)にこめられ今日まで歌い続けてこられました。

みなさん、ご存じですか？

※二度校歌がなくなりかけたエピソードがあります。

一回目は戦時中、男子校時代(昭和19年)生徒動員で学校の存続危機のとき、女子が入学して校歌が歌いつがれました。

(共学スタート)

二回目は100周年を迎えて福岡商業高校から福岡高校に校名変更の時。

時代の変化(進化)が校歌存続の危機でした。



福商会 さくら会 第80回定例会 平成25年1月17日 福商会館2階 宇土健治氏(福翔高校前校長=前列中央)を迎えて、福商校歌から学ぼう会

今、10代の現学生と90代の大先輩が共に同じ校歌を合唱できる伝統ある母校に、改めて力強く存続の意味と恩恵が受けつがれていることのすばらしさを再確認できた勉強会となり、最後に宇土健治氏の首頭で校歌を一番、四番まで合唱しました。

「第二回グルメ巡り交流ツアー」

第二回は寿司処いすみ本店 織田浩一さん(91回生)のお店をお訪ねしました。

若い大将は学生時代バレー部に所属、福岡(地元)に安くておいしいお寿司を食べてもらいたいと修業後、現在「天神東カンプルビー」で営業しておられます。

お店は離れもありませんが、お寿司はやっぱりカウンターで召し上がっていただきたいと用意してもらいました。

みなお寿司と大将の会話に短い時間ではありますが「楽しいグルメ交流ツアー」ができました。

今年の当番幹事も参加し、合同同窓大会の広告もゲットし感謝 かんしゃで記念撮影。



同窓会だより

64回生年金同窓会(65歳)

平成24年10月7日(日) 18時から天神の西鉄イン福岡13階プロッソで全クラスから120人が集まり、年金同窓会をおこないました。

来賓として福商会山口理事長、福岡高校井上校長のご出席をいただきました。

また、学生時代の担任であった2組の林先生、3組の太田先生、6組の帆足先生も元気にご参加いただき、盛会のうちの3時間でした。

次回の同窓会は平成27年に卒業50周年を祝う会を予定しています。

実行委員(2組) 吉井 薫



祝 福高64回生(昭和44年卒業)年金同窓会(65歳)
学年はひとつ

「小郡同窓会」の集い

平成25年の新年を迎えた1月23日(水)「小郡」に縁のある福商卒業生19人が集い、同窓会を小郡の一品香で開催しました。

この「小郡同窓会」の開催は、福岡県小郡市在住の皆様へ実行委員4人から電話連絡や、知り合いの方々に声をかけていただき多数の参加とご協力をいただきました。

筑後支部長天野勝(56回生)の開催挨拶に続き、福商会後藤専務理事、青木事務長、さくら会の木庭しげ美さん(73回生)安本



秀子さん(69回生)のご挨拶をいただき、その後、懇親会と全員の自己紹介など、福商時代の思い出話に花を咲かせて大いに盛り上がった同窓会になりました。

までフルコーラスした後、木稲敏子さん(53回生)が中締めで散会しました。

中富 賢一(62回生)

福は〜内! 喜寿53回生

2月3日、有馬さんのご厚意で恒例の豊友会節分会に首都圏の有志が集まった。今年には福岡から藤村さん、山本さんが特別に参加してくれ、石橋さん、佐藤さん、私6人で喜寿節分会となる。

「福は〜内、鬼は外ッ」壇上からどんどん撒かれる20グラム(75粒)入りの福豆を、周りの人と競ってキャッチ。それぞれ10個前後ゲットした。

この後、敬愛する出光先輩の出光美術



館に行き、オリエント美術を鑑賞、紀元前五千年紀から前七世紀までのエジプト・メソポタミア文明作品、前五世紀から六世紀までのローマ時代のガラス作品、九世紀から十九世紀までのイスラーム美術品など

144点の展示に非才ながら感動した。続いて東京駅へ向かう。有楽町からJRなら一駅だが、みんな歩きたいという元気が、喜寿まだまだいけるばい。ここで新装成った東京駅丸の内駅舎の重要文化財を見学、夕食は味噌おでんと芋焼酎で締めて全員、福は内に収まった。

榎田 康義

第5回福商56回生ゴルフ大会

初夏を思わせるような陽春の3月12日(火)久山カントリークラブで、松本幹事の企画で開催しました。

同会は五年前に56回生のゴルフ同好会としてスタートし、今回で第5回大会。初参加の石村君(三組)を加え18人のエントリーのところ、当日諸事情により2人の取り消しがあつて16人4組の大会となりました。

それぞれに73歳とは言え、若さ? を自認するメンバーが18ホールWP方式で日頃の技を競い、結果は七組の実力者福島君がネット71で優勝、2位松本君(六組)3位半田君(七組)でした。

われわれ56回生は三年間クラス替えがな

かった関係で、当初は大部分の人が初顔合わせの感で、まず自己紹介から始めた次第です。今では旧知の仲間の如く和気あいのムードのなか全員が無事ホールアウトする楽しい一日でした。

しかし昨年、残念ながらメンバーから平山君(一組)と柴田君(六組)の2人が他界されたことは寂しい限りであります。

これからは、健康第一を目標に喜寿の会、傘寿の会へと続くことを願いつつ散会しました。

長 和紀



陸上部 OB・OG会開催

平成25年1月13日(日) i-Pホテル福岡で第2回福商&福翔陸上部OB会を開催しました。第1回同様「福翔陸上部応援」趣旨の会に100人を超えるOB・OGの皆さんが集合。福翔高校陸上部顧問の園師先生に参加者全員のお気持ちを伝えることができました。今回も関東や関西から、参加されたOB・OGの皆さん、ありがとうございました。特に名古屋からの参加で今回最年長の68回



2011年卒の110回生



上野先生が顧問時代の大先輩方

生佐藤先輩には毎回、写真を撮って頂きスタッフ一同心から感謝しています。また事務局スタッフと当日スタッフの109回生・110回生の若い後輩のみなさん、ご協力ありがとうございました。

今回は、ご多忙の中、福商会の後藤専務理事、青木事務長に出席頂きました。

最後に上野先生から「来年も参加しますから、開催をお願いします」と、スタッフ一同次回も、楽しい2時間を企画致します。皆さんのご協力、よろしくお願い致します。

OB会の写真は左記アドレスの「OB会フォトギャラリー」で見られます。

古賀 正和 (74回生)

告知

日時 平成26年1月12日(日)
場所 i-Pホテル(予定)

(詳細は10月末までにメールにてご連絡いたします)

参加希望者の受付をしています。9月末までに下記アドレス「問い合わせ」で参加予定OKの方はメッセージをお願いします。
(予定が無ければ参加します程度で構いません)

福商&福翔OB+OG部室
<http://fukusho-tandf-ob-og.jimdo.com/>

太宰府支部観桜会

3月30日(土)に、太宰府支部恒例の「観桜会」を太宰府天満宮本殿裏の「松島茶屋」で開催しました。当日は天候にも恵まれ、今年は例年より桜の開花が早く、こちらこちら花びらが舞う中での会となりました。総勢25人



の参加でしたが、最近特に先輩会員の欠席が目立ち体調が案じられるところです。その中でもいつも元気な田代先輩(35回生)を拝見するたびに、頑張らねばと会員みんなが励まされているところです。来賓で、かつ当支部会員の宇土副理事長から、福翔高校歴史資料室が完成したこと、こんな高校は全国でも珍しく誇りだとの話があり、母校と福商会の歴史の重さを感じさせられました。また、さらさら会の平田会長からは、昨年の太宰府支部とさらさら会とのコラボについてのお礼と、今年は筑後支部との交流会が予定されているとの話がありました。

今回も新たに3人の新会員がいましたが、さらなる会員増をはかっていたと思っています。新会員の中には合同同窓会当番幹事の白木さん(88回生)がいて合同同窓会のPRもあり、6月の再会要請がありました。天気が良く桜の木の下での集合写真となりました。

太宰府支部 幹事 大西 正則 (62回生)

八光会(60回生) クラス同窓会を開催

4月3日、福太郎天神テラで、八光会(3年8組)のクラス会を古稀のお祝いを兼ね49年ぶりに行いました。

出席者は12人(男子5人、女子7人)でしたが、わざわざ京都から駆け付けてくれたり、数十年ぶりに会った友人を交え、2つ用意していたテーブルも会の半ばごろにはひとつになり、他のクラスメイトのことや思い出話に、時間の経つのも忘れるくらい和気あいあいと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。午後1時から始めたクラス会も2時間では話が尽きず、全員で近くの喫茶店に場所を変えて、夕方5時近くまで話が弾み再会を約束して散会しました。

柴田 培民 (60回生)



話が弾んだ八光会の皆さん

どうしゅう



おうらい

森 英敏さん (57回生)



夫婦、そろって「夢」を叶えた森英敏君を紹介いたします。横浜ゴムタイヤ販売(株)を60歳

で定年退職した森君は、第二の人生の歩み始めとして、健康体力づくりの生涯スポーツに取り組むことを考えました。出会ったのが、あまり人に知られていない「杖道」でした。奥様に自分の決心を話したところ「私も一緒に」しようということとで道場通いを始めました。以来11年の歳月を経て、夫婦仲良く五段に昇格するという快挙を成し遂げました。森家十段の誕生です。

杖道は三道(剣道・居合道・杖道)の一道です。その源は福岡黒田藩に伝わる「神道夢想流杖術」です。宮本武蔵に一度敗れるも再戦して勝利を収めた「夢想権之助」勝吉が開祖といわれています。時には大会で、夫婦対決もあり、妻に敗れることもあった。また、二人で大会出場のため全国津々浦々を訪ねたというツアーの思い出もできました。森君は在学中は、生物学部在籍を置き、昆虫採集や標本作製に励みました。長沢先生の指導を受け英彦山に三日間の合宿をし野山を駆け巡ったことが懐かしいと語ります。今般の会館訪問は、福商高校第11回文化祭の記念(昭和34年開催)タオルと私

が校章・襟章・バッジ等を福商高校「歴史資料室」に寄贈するために持参したものです。同行した私は兄妹5人がそろって福商高校卒業という一家です。

森君には、ますます「一心不乱」に精励努力を期待し人生の定道(杖道)に大輪の花を咲かせてもらいたいものです。去る2月19日(第3火曜日)57回生ワイワイ会において、盛大な祝宴を催しました。

清水 将英 (57回生)

稲富 千代子さん (71回生)

(旧姓岡本)



2月に首都圏在住の「70〜79回生懇談会」を開催しました。驚くことに参加者の半分ほどが71回生で

した。その時、同期に声を掛けて頂いたのが稲富さんでした。凄い先輩だと思います。6月の東京支部総会に毎年予定が重なり、欠席ばかりで残念に思っていたところに、懇談会の開催通知が届き「同期の仲間と参加したい」との思いでみんなに連絡をしたら、皆も同じ気持ちでした。当日は40年ぶりの再会で高校時代は話した事もない同期と話すごがで、楽しい一日でしたとの感想を頂戴しました。懇談会も盛り上がり、稲富さんが一歩踏み出して下さったことに感謝感謝です。

これを機に71回生の同期会が未長く続き

ますことを願っています。

稲富さんには、これからも頼れる先輩として、今後ともよろしくお願い致します。

永翁 利成 (72回生)

金森 健己君 (84回生)



昭和42年生まれで現在45歳。一児の父であり、妻の私は福商(現在福翔)で出

会い、3歳下の妹、そして娘も福翔の在生で、福翔一家であります。

福翔卒業後、魚市場での仕事をを経てA-U保険会社に入社。足のみめがづぶれるほど歩き回った二年間。二年目からは、現在の(株)アンシン商会でアメリカカンファミリーの代理店として約20年間ガムシヤラに走り続けてきました。まさしく、福翔の校訓でもある「熱・意気・力」のように。そんな彼の趣味は魚釣りとサッカー観戦。週末のお天気チェックと波がいい事を祈っている毎日です。

今年からアピスパ福岡に入団した息子(健志)の活躍と、何事にも一生懸命に頑張っている娘の成長を楽しみに、気持ちを新たに気を引きしめて仕事に励んでいます。

今まで出会った人たちに感謝の気持ちを忘れずに、一歩一歩前進している主人を見守ってゆきたいと思っています。

金森 さつき (83回生) (旧姓末次)



森 信次君 (73回生)



森君は福商での学生生活では、商人としての生き様である「臥薪嘗胆」の精神を学び、現在も座右

の銘とされています。福商から福岡大学に進まれ大学は違いますが、4年間のアルバイトを通じて知り合った彼とは、商人道と一緒に体験できたことが、今に繋がっていると確信しています。

福岡大学からユニ・チャーム㈱に入社。福岡大学の就職部を頼らずに自分で人事部と接触して入社されたが、就職内定は福岡大学で一番に決まったと聞いています。

ユニ・チャーム㈱では営業本部大阪支店を皮切りに、一貫して営業畑を歩き、広島支店長、大阪支店長を経て43歳で執行役員ベビーケア事業本部長、その後常務執行役員、取締役専務執行役員営業本部長に就任。国内事業の営業のトップとして500人を超えるメンバーを統括しています。

特筆すべきは2002年に国内の人口動態を見据えた将来の成長のために、ヘルスケア事業(大人用オムツ)の成長戦略の立案に関わり、国内事業の経営に大きく活かしていることです。

彼の生き様は就職活動を見ても分かるが、前向きな将来を見据えた取り組みは凡人と違う大変な苦労があったと推察します。

福商のことは、業務多忙のなかでも忘れずに、毎年全国の全国合同同窓大会の広告には、平成10年から欠かさず協賛してくれている彼を私は友人として誇りに思います。

野口 嘉孝 (73回生)

堀越 敦子さん (88回生)



堀越さんは春吉中学から福商普通科に入学。部活は演劇部に所属しました。入部のきっかけは「全国大会で名古屋に行く」という先輩の言葉でした。

しかし、演劇の中でダンスのシーンがあり、顧問の石坂先生がダンスの向上にと学校が呼ばれたインスタクターと運命的な出会いがあり。演劇部を2年で退部し、以後29歳で結婚するまでダンスの発表会やイベント、ふくしゅう100周年ZEPF福岡など数多くの舞台に立ちました。

福商卒業後、西南学院大学に進み、中国文化を学び、吉林省長春市と台湾にホームステイをしたそうです。

趣味、運動も多芸で20代はバイク、スキューバダイビング、スキーに熱中しました。

現在は美術工芸品販売の会社を切り盛りする傍ら、育児、PTA、町内会役員と多忙な毎日です。

今年は福商会合同同窓大会の当番幹事で、打ち合わせ会議には子供を連れて出席してくれており、幹事一同、頭が下がる思いです。

大会に向けて、新たな出会いが自分を成長させてくれると、自分の活動に協力してくれる親、子供、福商の先輩方のために感謝の気持ちで応えたいと頑張っている彼女です。

迫田 正利 (88回生)

安本秀子さん (69回生)
「結の会」に出演



安本秀子さん (花柳瀧紅)

平成25年3月20日(祭日)大塚公園能楽堂で東日本被災者支援チャリティー公演で「老松」の演目で出演されました。

当日の公演チケットは完売で、事前に売り券を購入した方で満員でした。

福商会からは、さくら会、筑後支部の皆様ほか、同窓生が大勢応援にかけつけたなか、立派な舞台で華麗な日本舞踊を披露されました。

安本さんは花柳瀧紅の名前で花柳流師範です。福商生の同窓会で日本舞踊(祝舞)を披露されることも数多く、今後も皆様からの出演要請に応じたいと語ってくれました。



高川博さん (61回生) が
本を出版されました



邪馬台国絡みの古代史小説ですが、最新の考古学知見を取り入れながら、3世紀の魏志倭人伝の世界を東アジアの国際情勢より読み解く、時空を超えた壮大なスケール

のストーリーです。福岡も主要な舞台となっていますし、博多弁も飛び出してくる楽しい小説です。

なお、高川さんは美術部所属だったとのこと、本の表紙やイラストも全部自らの制作です。

出版：文芸社(セレクション)
蓬莱島(ほうらいとう)見聞録
価格 672円(税込)

高川 博さん (61回生)

職歴：安田火災
(現損保ジャパン)

出身地：大野城市

現住所：さいたま市浦和区



トピックス

歴史資料室創設

平成25年3月27日(水)午前10時から福翔高校(多目的ホール)で福翔歴史資料室創設の式典を開催しました。

来賓として福岡市教育委員会から酒井龍彦教育長ら多数の列席を賜り、式典は整然と開催されました。

福商会からは山口理事長のほか秋丸副理事長、高木副理事長、宇土副理事長、後藤専務理事ら30人の出席をいただきました。

福翔高校からは井上直輝校長、谷本副校長、箴島教頭、PTA役員らに出席いただき、また、昨年6月に発足した歴史資料室準備委員会メンバー15人が資料室創設完成に晴れやかな笑顔と満足感のもと式典は終了しました。

次に歴史資料室に全員が移動し、山口理事長、酒井教育長、井上校長の3人によりリナーカットが行われました。

その後、出席いただいた皆様60人がタイムトンネルを挟んで、提供をうけた福商会委員の資料、部活ソーン、偉人コーナー、検索コーナーを見学していただきました。

初めて野多目校舎を訪れた先輩がたからは、堅粕校舎時代の懐かしい展示品に眼を細められ、質問などを熱心にされています。

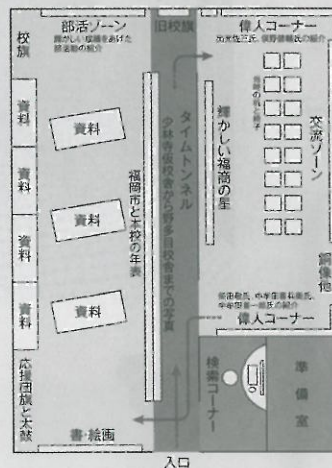
なお当日の式典、歴史資料室創設の様子は朝日新聞の取材があり、翌28日の朝刊に掲載



されており、資料室利用については、学校側の都合もあり、申込み制で平成25年4月から7月までの間は、土・日曜・祭日の午後1時から午後4時までです。

利用申込書は利用日の1週間以上前に福商会まで電話、FAX、Eメールで連絡をいただき、学校の承認を得て、見学日が決定することになります。

歴史資料室案内図



熱意氣力
 福岡市立 福翔高等学校
 福岡市南区野多目5丁目31-1
 電話 (092) 565-1670
 一般社団法人 福商会
 福岡市中央区大名1丁目12-57
 電話 (092) 711-9890



福岡市立 福翔高等学校
 一般社団法人 福商会

詳細につきましては、福商会ホームページ、福商会事務局 電話 092 (711) 9890 まで問い合わせください。

利用案内

利用日時は、午後1時から午後4時(平成25年4月~7月までは土、日、祝祭日のみの利用と限定)とします。歴史資料室長が校務に支障があると認めるときは、利用の日時を変更する場合があります。

歴史資料室の利用を希望される方は、福商会事務局に利用する日時、団体名、代表者氏名、人数、連絡先等を電話で伝えるか、または、福商会ホームページから利用申請書をダウンロードし必要事項をご記入の上、福商会事務局にFAXをします。その後、事務局が学校側と調整、協議、許可が下りた後、利用許可証を発効します。利用される当日に、その利用許可証を歴史資料室に待機の間窓会事務局関係者に提出してください。利用の申請は、利用日の1週間以上前に行つて頂くようお願い致します。

利用の流れ

- 福商会事務局 or ダウンロードし ご記入の上FAX
- 利用申請書を
- 利用許可証
- 利用時に歴史資料室に待機
- 利用許可証を提出

創立110周年記念



タイムトンネルに入り……

偉人コーナー、歴史ゾーン、同窓会ゾーン、部活ゾーン、定時制ゾーン、交流ゾーン、検索コーナーゾーンを廻り福商・福翔110年を再現しています。

現在多くの卒業生より資料が集まり、当時の教科書や制服、制帽、通知書、部活動の表彰状やトロフィー等を展示しています。



タイムトンネル



卒業生より寄せられた資料など



輝かしい福商の星



偉人コーナー ～福商の巨星たち～

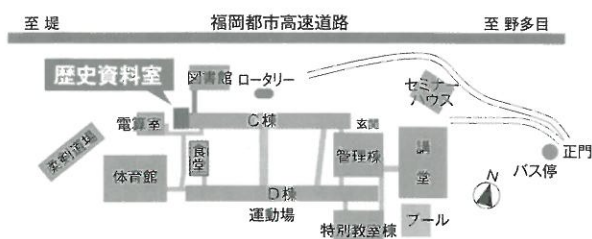


偉人コーナー ～福商の巨星たち～



検索コーナー(タッチパネル電子図書)

● 歴史資料室 ご案内図



熱意氣力

福岡市立 福翔高等学校
一般社団法人 福商会

110年つなげ 福翔高資料室



半世紀以上前に使われていた机や椅子が並ぶ福翔高校歴史資料室—福岡市南区野多目5丁目

福岡市南区の市立福翔高校に歴史資料室ができ、27日、開設セレモニーが開かれた。1900年に産声を上げた同高の、110年以上にわたる歩みを紹介している。

広さ約250平方メートル。長年構想を温めてきた同窓会福翔商會が、使われなくなった家庭科室を1400万円で校舎を構え、63年に現在地に移った。2000年、旧校舎を解体し、この地に建て替えた。福翔高は1900年、福翔市商業学校として福岡市材木町（現・中央区天神3丁目）で開校。福岡市立高は、出光興産の創業者出光

110年つなげ 福翔高資料室

「後輩の指標に」同窓会贈る

佐々木（2回生）や、岩田（百貨店創業者の中牟田喜兵衛（8回生）ら、卒業生の業績を紹介する。福商会理事長の山口毅（77）は「先輩の活躍に触れてもらい、福翔に学ぶ生徒さんには、卒業後の指標としてほしい」と話している。

交流コーナーには、堅粕校舎時代に使われていた机や椅子、そろばんが並んだ。同高の倉庫に眠っていた古い同窓生らは「こんなに小さかったか」となど笑いながら青春時代を振り返っていた。資料室の一角には、デジタルアーカイブもあり、これまでの同窓会報や校歌、応援歌などが取められ、見たり聞いたりできる。

福商会専務理事の後藤幹生（元大野城市長、78）は「校舎の場所や校名が変わり、卒業生のつながりがどうしても薄くなってしまう。『福商』と『福翔』がつながる場になってくれればうれしい」と話す。

見学時間などについては検討中。問い合わせは福商会（092・711・9890）。（山下知子）

朝日新聞記事より

福翔高に「歴史資料室」

卒業生が整備 113年の歩みたどる



113年の歩みを振り返る福翔高校の歴史資料室

福岡市南区野多目の市立福翔高校に、113年の歩みを展示物などで振り返る「歴史資料室」が開館した。伝統に触れ、在校生に母校愛を育んでもらおうと卒業生らが発案し、整備した。学校が輩出した著名人を「ハネル」で紹介するほか、戦前に使われていた教材や机、イスなども見学できる。

著名OBや部活動紹介

同校は1900年、福岡市商業学校として同市材木町（現在の中央区天神3丁目）に開校。博多区の千代松原校舎も堅粕校舎を経て、63年、現在地に移転。2000年に福岡商業高校から現在の校名が変わった。

地元経界などに人材を輩出し、1世紀を超える歴史をたどると、卒業生約2万4千人でつくられた同窓会「福商会」が、昨年春に学校職員と実行委員会を立ち上げ、構想を練った。会員の寄付などで約1400万円を集め、1階の旧家庭科室約250平方メートルを改装し、歴史資料室を整備した。

出光興産を創業した出光重徳（71）や、66回生で同会の幹事、治副理事長（63）は「学校の歴史を築き、学べるよう工夫した。母校に偉大な先輩がいたことが、在校生に知ってもらい、社会に貢献する人材を育てたい」と話している。

一般の人も見学でき、問い合わせ先は福翔高校（092）（565）1670。卒業生の問い合わせ先は福商会（092）（711）9890。（庄部勇大）

光佐三氏（2回生）や岩田屋創業者の中牟田喜兵衛氏（8回生）ら、著名なOBを写真入りで「ハネル」で紹介するほか、高校剣道の全国大会・玉電旗で最多の度の優勝を誇る剣道部など、部活動の功績も紹介。一角にはタッチパネル式の液晶画面も設置し、データ化された過去の卒業アルバムなども閲覧できる。

福翔高に

「歴史資料室」

平成25年4月11日朝刊 西日本新聞記事より

- | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|----------|---------|
| 58 泉 栄之助 | 57 大賀 孝徳 | 56 井下 尚志 | 55 天野 重瑠 | 54 堤 悟教 | 53 岩重 一郎 | 52 鳥巢 泉 |
| 起 辻 正行 | 河村 徳行 | 原 時恵 | 石川 完治 | 中野 征邦 | 安西 晴 | |
| 光安 芳江 | 川原田和平 | 水谷 廣 | 甲斐 秀明 | 宮崎 浩之 | 吉村 方伸 | |
| 海崎 俊子 | 大賀 孝徳 | 結城 隆 | 高瀬 豊 | 吉村 誠一 | 渡辺 芳泰 | |
| 山崎 寛 | 天野 勝 | 白水 征男 | 西村 直大 | 江越恵美子 | 山本 孝 | |
| 森 英敏 | 田坂 淑子 | 水上 省二 | 秦 芳宣 | 藤野 久和 | 山本 孝 | |
| 森 英敏 | 田坂 淑子 | 水上 省二 | 西村 直大 | 藤野 久和 | 山本 孝 | |
| 川原田和平 | 大賀 孝徳 | 結城 隆 | 高瀬 豊 | 吉村 誠一 | 渡辺 芳泰 | |
| 川原田和平 | 大賀 孝徳 | 結城 隆 | 高瀬 豊 | 吉村 誠一 | 渡辺 芳泰 | |
| 川原田和平 | 大賀 孝徳 | 結城 隆 | 高瀬 豊 | 吉村 誠一 | 渡辺 芳泰 | |

24年度まで

平成24年度 卒業回生別会費納入者数一覧表

卒業回生	24年度	前年度	卒業回生	24年度	前年度
21~30	8	10	74	15	12
31	6	8	75	33	25
32	7	9	76	12	12
33	9	9	77	22	29
34	1	5	78	15	11
35	9	13	79	31	17
36	5	8	80	11	10
37	12	14	81	13	11
38	16	19	82	18	18
39	29	29	83	15	10
40	36	35	84	21	19
41	28	33	85	27	25
42	35	41	86	25	29
43	28	34	87	12	16
44・45	41	46	88	7	5
46・47	52	57	89	5	7
48	27	28	90	2	3
49	26	24	91	1	2
50	66	71	92	1	2
51	88	90	93	2	2
52	92	95	94	2	2
53	63	64	95	1	2
54	81	73	96	3	2
55	93	87	97	0	1
56	112	108	98	1	1
57	96	97	99	1	1
58	104	101	100	1	2
59	102	104	101	0	3
60	100	94	102	0	1
61	84	79	103	3	4
62	62	64	104	2	3
63	97	97	105	6	9
64	61	57	106	4	6
65	38	42	107	3	4
66	58	62	108	9	18
67	53	70	109	23	310
68	52	85	110	312	—
69	54	46			
70	32	40	別1~別15	19	25
71	16	16	定1~定43	16	17
72	16	16			
73	19	17	合計	2,708	2,773

平成25年3月31日現在

■ 物故者名 (前号より4月12日まで)

柴田 照明	42 岩崎 賢	40 吉村 泰雄	山寄 大三	藤 慎一	塩川 隆男	後藤 明	39 秋枝 康雄	38 中島 繁之	37 持山 嘉六	35 福山 啓介	34 秋根 義介	32 松本 強	29 上田 良一
H 25.3.30	H 24.12.25	H 25.1.18	H 24.12.18	H 24.12.18	H 24.12.18	H 24.9.1	H 25.1.21	H 25.1.23	H 25.1.5	H 20.2.27	H 21.10.25	H 25.2.23	

川口利美子(下田)	山下嘉三郎	真崎 剛	柴田正二郎	56 入江 顕	55 大橋 敏江(酒井)	安川 久子(松原)	54 古家 嘉明	53 松本 弘文	52 山内 政明	51 今泉 麗子(柴田)	50 綾部 和子	46 藤野 晋一	44 稻倉 克美
H 25.3.15	H 24.12.24	H 24.12.22	H 24.12.22	H 25.1.3	H 25.2.22				H 24.8.5	H 25.1.5	H 25.3.3	H 24.12.29	H 25.1.13

88 今村 博美	73 高田 宗勝	64 有賀 陽子(樋口)	62 大浜 武松	61 駄原 康子(松尾)	60 宮崎 順治
		H 25.1.15	H 24.7.14	H 25.2.20	H 25.1.17

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。



会長
高木 不二男 (60回生)
Fuji Takaki

株式会社 ダリア
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail/f-takaki@dalia.co.jp
http://www.dalia.co.jp

「うまい!」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役社長 山口 毅 (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

一般社団法人福商会副理事長

秋丸武士 (58回生)

〒812-0006
福岡市博多区上牟田 1-22-3
TEL(092)411-7415

創立110周年記念事業募金報告

平成23年11月1日～平成25年4月30日 2,260件余

2,500万円の募金協力をいただきまして心より感謝を申し上げます。

平成23年11月から始めました、福翔高校創立110周年記念事業の募金は目標2,500万円に対し、平成25年4月末で目標額は達成しました。これもひとえに同窓生を始め、福翔高校の旧職員の方々の浄財であり、熱き母校愛と福商會を永遠に輝けるものとしての記念すべき事業でした。心より感謝と御礼を申し上げます。

募金については、110周年記念誌の発刊費用や福翔歴史資料室の創設に伴う費用に充当させていただきました。母校の生徒からは後世に残る記念誌と資料室創設に対し感謝のことが数多く聞かれ、福商會として事業の完結は喜ばしいものであります。

福商會として、今後とも母校にできる限りの支援とご協力をお願い申し上げます。

百十周年記念事業
募金納入者
(平成24年11月から25年3月まで入金の方)

- 39回生
38回生
37回生
36回生
35回生
34回生
33回生
32回生
31回生
30回生
- 下村 孝 舟越 甲一 田中 範隆 宮崎 武士 眞鍋 正夫 今林 康夫 舟越 光好 孤田 元一 竹山 雅巳 池見 梶雄
池浦 三郎 中島 繁之 原大三 大藤 恒雄 岡崎 忠雄 持山 嘉六 王丸 宗三 石橋 啓 柴田 實夫 矢野 与四郎 川本 義男 印 正司 田代 成美 江島 俊助
藤野 廣次郎 鳥山 昇 橋本 満 柴田 岩夫 横田 尚正 安河内 重連 後藤 長兵衛 山本 武 大山 安太郎
- 41回生
40回生
- 大社 茂雄 木下 清 浅川 吉彦 権丈 忠 鷺見 緑郎 香月 弥一 石橋 治男 宗 健次 山崎 義信 小倉 信雄 石藏 宏見 石村 善治 正木 宏 高松 忠 花村 清二 深川 甚一
上新 慶治 篠原 健次郎 山本 福雄 吉田 稔 野中正 十四 森 忠重 林 敏治 花田 静夫 千葉 敏朗 常岡 浩 有吉 幸男 廣澤 茂男 堀 正憲 樋口 正 大戸 教弘 石田 勝美 渡邊 博 田中 寛
山崎 大三 藤 上 次郎 今林 康夫 白石 敏雄 山本 俊生 渡邊 與三郎 石橋 武彦
- 44回生
43回生
42回生
- 末松 泰典 藤 文次 三舛 栄次郎 横大路 稔 中牟田 正生 平野 良平 吉村 龍典 吉浦 親吾 金堂 辰昭 本園 豊 大藪 善三郎 山本 峻三 占部 利彦 宮原 守男 眞鍋 和夫
齋藤 三郎 今村 和雄 渡邊 健二郎 西 利男 山崎 孝一 平野 信男 森住 勝 正木 利造 川島 健朗 伊藤 嘉昭 藤島 規久士 柴田 照明 伊賀 良雄 高宮 春夫
金子 重義 執行 季雄 藤野 豊 澄井 弘 白水 照敏 眞鍋 明彦 小島 鹿次郎 梶谷 紀生 船越 完 倉富 昭正 持山 惠亮
- 47回生
46回生
45回生
- 津上 明一 村上 正男 穴井 利男 白井 正和 魚住 誠剛 山崎 俊幸 藤野 晋一 亀岡 元一郎 安河内 馨 小柳 陽一 堀 義助 野田 仁久 徳安 敬之助 柴田 圭三 水越 環 柳川 和夫 笠 忠夫
後藤 豊彦 安川 榮一 安恒 秀生 前田 常喜 田中 正博 松本 宗次郎 渡邊 伸幸 西嶋 三七男 原田 サツ子 半田 キヨ子 富永 哲二 蔵本 隆 角 勲親 久我 輝和 都地 義彰 福田 吉雄 櫻木 文和 原田 尚一 中西 三衛門 古屋 恒男 小石原 英照 野田 照明 大庭 繁 鶴田 孝志 金澤 恒雄
- 49回生
48回生
- 浦志田 里子 高橋 和臣 古賀 暢子 榊 安正 内田 繁樹 原田 茂人 佐々木 明子 柴戸 節男 山口 篤 阿刀 寛明 松本 勇夫 栗原 綾子 出崎 昌男 春山 耀子 本村 正義 稲永 篤 長井 昭子 楠原 成見
小林 妙子 重富 貞子 淵上 信子 西田 美代子 堀内 信子 井上 定子 富永 七左衛門 原田 サツ子 半田 キヨ子 富永 哲二 中野 恵美子 石松 久子 進藤 百合子 大平 美智子 江藤 信子 三浦 藤子 松田 賢子
西嶋 功 須原 春雄 松島 重吉 波多 江順治 雨森 豊
- 50回生
51回生
- 藤野 正春 内野 晴行 内田 正俊 森 栄一 幸若 久義 吉田 恒田 高木 正士 石田 虎彦 吉井 次雄 吉岡 勝美 吉積 隆二 山野 義勝 森下 喜太 宮崎 照雄 三宅 栄 橋本 国彦 佐野 博 石橋 幸二 田中 正剛 嶋田 春雄 三島 敏之 須原 尚寅 小西 醇一 鳥飼 進 花田 義和 小柳 雅暉 波瀬 要一 藤井 信義 香月 清 新原 茂美 江崎 利雄 空閑 謙二 山地 政美 三浦 謙作 中村 順二
宮本 文雄 斧田 藤一 大田 諒一 小嶋 勝人 中村 勝一 高尾 克二 日高 早苗
- 51回生
- 豊福 眞木子 白水 倉光 牛田 英男 中園 利明 藤野 敬一 江藤 弘 渡邊 渡美男 福原 淳二 小杉 和弘 柴戸 昌行 秋山 肇 平野 富義 大隈 清三郎 高谷 道昭 諸永 宗春 富永 精一 白垣 知己 伊藤 由久 岡部 守友 日高 淳二郎 久保山 繁 入江 英雄 磯山 嘉郎 平田 昌直 森山 昌雄 和田 敏雄 山内 治 赤司 満子 堀 季雄 梅津 和義 木村 公英 西田 豊喜 船津 隆夫 山下 ケイコ
河村 吉矩 内山 武 矢部 国太郎 鈴木 秀夫 中田 孝至 渡邊 俣 西田 邦男

河井 雄輔 中尾又三子 内野 義弘 板谷 博孝 松尾 初枝 上田 洋三 宮田 信 森 京子 鳥巢 泉 佐々木朝康 大内田憲三 大塚 重敏 萩尾 賢一 拝形清一郎 山下善一郎 池田新太郎 藤木 淳介 松尾 隆徳 野田 強 西川 清春 牛房 房子 太田 雅弘 今林 貞一 渡辺 得 安恒 武士 北尾 啓介 田中 昌夫 井上 文字 52回生 山根国三郎 森田 敬 安村 眞 藤尾 朝昭 田中 知範 池田三郎典 進藤 隆夫 松尾 昌穂 柴田 栄喜 眞武 裕 向田 勝有 綾部 正幸 八尋 久 田中 大緑

鶴 萩尾 善彦 木稻 敏子 石橋 康平 吉積 正弘 市川 正一 53回生 三宮 和男 細川 操 小島 壽園 古川 研二 古賀 眞信 篠崎久美子 山本信太郎 山下 博保 藤野 智明 中島 清 中谷 恵子 芹野 哲治 磯野八儿三 武富 清 池田 頼利 竹田 廣毅 奥村 健次 森 健三 藤 鉄男 三木 剛 園木 寿治 櫻木 照久 松本 千萱 福田 順一 安河内眞彦 山口 毅 榎原 弘 柴田 重行 上村 隆 丸本 嘉男 松岡 久人 本村由美子 榎藤 利男 高井 義仁 安河内繁喜 中村 義隆

大内田悦子 宮崎 利明 小島 千里 竹林 道代 松永 恵子 森本 繁 園田 尚徳 名武代志子 木道 順一 藤田 玲 田中 隆枝 吉田 一郎 村山 俊二 坂本 喜孝 坂田 亨 石田 正明 浦田 康義 榑田 義幸 渡邊 満夫 添田 栄一 本田 栄一 山本 文子 酒井 俊寿 篠崎 博志 日永田力工 松本 弘文 鹿兒島史浪 高田 鉄男 山崎 輝喜 大西 寿 佐藤 毅彦 伊東 正宏 難波 正徳 榑田 康義 野原 伸之 石津 英之 藤 秀和 有馬輝一郎 安西 晴 吉村 方伸 安達 健 永田 順子

山下 励三 大賀 千秋 五島 嘉昭 小長光美子 田代 健治 大石 義信 宮崎 浩之 小田部達司 石寄智恵子 藤木 浩 松田 洋一 坂本 徳俊 稲永 照夫 宮石 健司 河村 準二 齊田 貴典 松岡 辰子 篠原 隆義 萩尾 傳 光安 義弘 原田 説生 辻 三郎 渡邊 住道 菅 肇 安武 眞明 54回生 岡部 眞弓 山本 孝 挽田 泰邦 藤村みつの 茂木 久子 樋口 敏子 本川 廣義 豊嶋 良孝 行武 義江 勝瀬 武奎 井上 順子 谷口 章三 青松 文子 本多 好子 只松 慶子 沖田 勲一 三島 俊男

安武 浩之 奈良崎 毅 今長谷 豊 梅津 武敏 矢野 英二 平田 實一 北嘉与子 結城 清之 森光 弘昭 大和 正 金丸 勇 安土 博章 表谷 勝 古武 英敏 関 修治 西村 直大 米沢 二郎 篠原 隆義 萩尾 傳 光安 義弘 古城戸安秋 梅田 隆平 瀧田喜代三 西村 英俊 荒巻 和子 牛尾 静雄 石川 完治 藤野 久和 秋山 要一 山本 昌三 下田七口子 藤村みつの 茂木 久子 樋口 敏子 本川 廣義 豊嶋 良孝 行武 義江 勝瀬 武奎 井上 順子 谷口 章三 青松 文子 本多 好子 只松 慶子 沖田 勲一 三島 俊男

秦 芳宣 石田 昌道 大谷喜美子 冲田喜代子 又吉 当子 安藤 盟子 宮崎五百子 溝口 敬子 峯 記代子 南原 勉 松崎 勝巳 中嶋 了介 宅嶋 徳昌 篠隈 素 北方陽一郎 乙藤 光之 大峯 徳男 西村 直大 米沢 二郎 篠原 隆義 萩尾 傳 光安 義弘 古城戸安秋 梅田 隆平 瀧田喜代三 西村 英俊 荒巻 和子 牛尾 静雄 石川 完治 藤野 久和 秋山 要一 山本 昌三 下田七口子 藤村みつの 茂木 久子 樋口 敏子 本川 廣義 豊嶋 良孝 行武 義江 勝瀬 武奎 井上 順子 谷口 章三 青松 文子 本多 好子 只松 慶子 沖田 勲一 三島 俊男

豊嶋 昌代 長 和紀 結城 隆 古宮 信弘 鶴田 義明 古賀 敏勝 力丸 寿 小西日出子 藤田 純子 天野 辰慶 古賀 義孝 安藤 盟子 宮崎五百子 溝口 敬子 峯 記代子 南原 勉 松崎 勝巳 中嶋 了介 宅嶋 徳昌 篠隈 素 北方陽一郎 乙藤 光之 大峯 徳男 西村 直大 米沢 二郎 篠原 隆義 萩尾 傳 光安 義弘 古城戸安秋 梅田 隆平 瀧田喜代三 西村 英俊 荒巻 和子 牛尾 静雄 石川 完治 藤野 久和 秋山 要一 山本 昌三 下田七口子 藤村みつの 茂木 久子 樋口 敏子 本川 廣義 豊嶋 良孝 行武 義江 勝瀬 武奎 井上 順子 谷口 章三 青松 文子 本多 好子 只松 慶子 沖田 勲一 三島 俊男

渡辺 早苗 阿部 弘美 門田 邦夫 奈良崎正高 居石 和之 松本 慎吾 神脇 純孝 藤田 純子 天野 辰慶 古賀 義孝 安藤 盟子 宮崎五百子 溝口 敬子 峯 記代子 南原 勉 松崎 勝巳 中嶋 了介 宅嶋 徳昌 篠隈 素 北方陽一郎 乙藤 光之 大峯 徳男 西村 直大 米沢 二郎 篠原 隆義 萩尾 傳 光安 義弘 古城戸安秋 梅田 隆平 瀧田喜代三 西村 英俊 荒巻 和子 牛尾 静雄 石川 完治 藤野 久和 秋山 要一 山本 昌三 下田七口子 藤村みつの 茂木 久子 樋口 敏子 本川 廣義 豊嶋 良孝 行武 義江 勝瀬 武奎 井上 順子 谷口 章三 青松 文子 本多 好子 只松 慶子 沖田 勲一 三島 俊男

水戸 利枝 中村喜八郎 山次 憲輔 元田 恵子 原野 保之 石橋 徹也 加隈 孝明 仲尾次 弘 武内 幸子 阿部 国明 大神 正昭 古賀 高明 宇佐美 隆 森 英敏 西村大戸志 原田 松美 松藤 耕三 山内 光 大内 栄子 大数 澄子 高橋 容子 常岡 静香 福田 蓉子 赤坂 勝祥 秋丸 武士 井浦 敏和

井浦 敏和 秋丸 武士 赤坂 勝祥 福田 蓉子 常岡 静香 高橋 容子 大数 澄子 大内 栄子 山内 光 森 英敏 西村大戸志 原田 松美 松藤 耕三 山内 光 大内 栄子 大数 澄子 高橋 容子 常岡 静香 福田 蓉子 赤坂 勝祥 秋丸 武士 井浦 敏和

岡部 信義
児島 魁
小林 南男
篠崎 貞義
松島 輝通
松山 弘
荒尾 元子
入江 保子
金丸 敏恵
今野 和代
柴田 直子
下門 栄子
徳久 和子
納富満智子
福田 洋子
松藤サ子子
柳井 妙子
山田 泰子
吉田亜紀子
石井 一雄
伊藤 忠輝
大部 和文
梶谷 照彦
川崎 輝男
高野 征男
中山 雅雄
橋本 政雄
福与 克己
山本 久幸
井上力ツミ
重松 泰子
杉本 恵子
中馬 勝子
角田 満子
藤谷 敦子
吉田 征子
伊原 眞
牛島 輝雄
大神 隆
岡田 雅晃
岡本 光史
北垣継一郎
熊添 勇夫

長野 哲也
袴田 秀美
福田 克己
宮川 一馬
結城 嘉勝
龍修 一郎
岡本 房子
片山 和子
笠井喜代子
刈茅 初美
黒岩 友子
近藤 睦子
高橋 洋子
寺地 洋子
中島 和子
橋本 牙子
正木 幸子
南 公子
矢次 朝子
井上 興治
井本 健造
上杉 百正
柴田 利広
白木 英治
平 慶典
高瀬与志郎
中川 洋介
橋本 巖
松尾 泰宏
山見坂 晴
吉田 和男
梅本 昭子
武田 重子
荒木 浩輔
井上 光彦
沖村 篤
加来 将昭
佐々木 均
藤 勝己
蛭間 祥之
藤井 宏一
松浦 豊喜
森山 柁樹

吉原 隆雄
船越 弘子
本田香代子
山本 章子
川井 静樹
川添 隆司
高木 直幹
那須 寿幸
水上 敏男
柳池 啓伯
山根 英樹
吉住 正隆
山下 光吉
有川卯佐代
井上三枝子
今村 悦乃
柴田眞理子
田所嘉代子
傳 美代子
古川 伸子
松本夕三工
山岸美恵子
秋吉 年春
麻生 武三
石崎 和敏
堺 恭之
清水 勝人
谷口 純洋
西村 愛蔵
久野 卓治
平野 善之
戸次 脩
真鍋 仁輔
山口 利勝
安部喜美子
岩瀬 淳子
堺 八重子
末松 秀子
森 敏子
山口 節子
吉田由紀子
曾木 東城

満生 博文
吉浦 義臣
高橋 哲二
藤 昌廣
池田 健二
秋山 聰
広渡 節雄
宮川 隆
仲山 博文
井上 孝史
八尋 茂忍
野口 信子
羽瀬工三子
山口 和子
国崎 学
齋田 郁夫
山口 照美
郡司 民子
三島 毅
宮田 政夫
安松 昭一
森 武紀
古泉 仲夫
境 輝幸
高津 昌弘
高倉 弘
大坪 國男
三島 稔
吉松健太郎
今井 栄子
泉田 順子
大里那華子
国武 浩子
黒木 牧恵
吉野 昭子
内海 正剛
江川 妙子
糸山 信行
鬼木 偉雄
青柳 英雄
藤田 昭子
大田 昭子
清原 藤人

60回生

河野加代子
森 勝美
江崎 征二
野地 昭男
権藤 国栄
中村 忠子
岡崎 国伸
平松 孝介
小手川伊津子
藤 和幸
磯田 一徳
吉田 茂文
寺崎 陽子
山口 雄三
角倉伊津子
栗山 茂
小川 穰
中峰志津代
森 清子
太田久仁彦
福井 圭佐
江口 幹彦
伴 武司
石川浩二朗
高木不二男
弓 孝夫
山崎 茂之
江藤 信允
細田 節子
池浦 竹彦
小池 節子
富田 一幸
福島 克郎
森本 和子
井上 信男
白石 寛嗣
柴田 培民
柿原 和人
樋口 嘉子
藤井 紘一
山下 速子
青柳 輝雄

宮崎 伸博
西内 明
末安鴻一郎
平地 秀二
嶺 雅子
戸上 洋子
梶原 繁利
財津 信義
野上 嘉良
桑原 良子
天野 一秀
井上 博美
高尾 忠晴
伊藤 紘司
栗秋 詔和
柴田志乃ぶ
安部美智子
西島喜代子
栗秋 和子
中野 清志
榑崎 勝吾
榑崎 博子
福島 克郎
益田 摂理
森 茂
矢野 正司
生津 信子
池川 滯子
井上七口子
仁部 洋子
牛島 幸子
岡田 信子
小西 哲子
近藤 昭代
酒井 昭子
辻 照代
長島 闌子
角积 哲夫
宮田 勝則
上田 英喜
近藤 雄三
柳地 賢丸
諸富久美子

62回生

61回生

藤 文子
廣田 良隆
前田 昭男
原口 博人
倉眞 和也
坂下 喜美
村上 瑞枝
細山 征子
太田 皓
田中 豊晴
立山 初代
中村 千晶
篠原 裕治
板谷 茂子
橋口 哲郎
眞子 紀男
松本こよの
曾根 武夫
手島 洋子
坂田 勉
小手川伊津子
藤野 莞嗣
湯下 稔明
尾崎 武利
熊野 滉子
富永恵美子
南野サツ子
藤田 明彦
岡部 忠男
眞子 紀男
廣田 文子
前田 昭男
原口 博人
倉眞 和也
坂下 喜美
村上 瑞枝
細山 征子
太田 皓
田中 豊晴
立山 初代
中村 千晶
篠原 裕治
板谷 茂子
橋口 哲郎
眞子 紀男
松本こよの
曾根 武夫
手島 洋子
坂田 勉
小手川伊津子
藤野 莞嗣
湯下 稔明
尾崎 武利
熊野 滉子
富永恵美子
南野サツ子
藤田 明彦
岡部 忠男
眞子 紀男

河辺 吉幸
大武 節子
本山 忍
吉田扶久子
入江 淳
吉原 廣治
篠崎七三郎
百瀬 久子
中尾 久枝
國崎美智子
砂川 貞子
中山洋治朗
豊村 和子
小田部茂俊
小田部克子
鬼木 智明
八尋 勇夫
三好 健二
菅田 秀代
村田喜代子
佐伯 和子
坂本 昭子
大浜 武松
泉 時子
山下 充子
中島美智子
馬場力ツ子
佐伯 和宏
神笠 正巳
福沢 洋子
阿部 和美
丸山 勝
佐藤 廣美
大神 忍
藤田 正勝
金子由美子
横峯 康子
松村 新吾
高木 茂之
森光 博之
増井 淳子
藤田 昭生

63回生

64回生

草場 征二
高尾 信忠
古賀 昱子
榑崎美恵子
白石 雅彦
下川 哲明
阿部 栄子
井上 清子
田中久美子
森 初野
関 陽之祐
徳重 省一
広瀬由紀子
小西 幸治
白水 新一
緒方 友枝
安河内ミドリ
石井みどり
高丘 基東
鶴田 秀子
野北 克之
永田 利明
伊藤 國雄
麻生 孝夫
和氣由利代
野村 利幸
井上 桂子
篠崎 照
阿部 五月
青柳 栄子
伊藤 忠
船越 恰子
萬福 公子
青谷 昇
角 加代子
小森 馨
内海 清
田村登美子
吉瀬美恵子
吉井 薫
久保 東彦

65回生

友岡 元紀
山本 芳子
村上 裕子
稲益 政晴
上木 政章
上木 節子
大崎 順子
平田 稔樹
平田 哲子
池添 昇
内野恵美子
安河内敬一
前川 博行
森岡 優
安河内維仁
森山 良作
河津 憲子
畑山 正寿
尾上美恵子
中村 和俊
根上 晃
甲斐 隆
井上 康市
吉田 一彦
栗柄 健一
安河内維仁
友納 繁
桜川 房子
田中 順子
益田美智子
阿部 眞弓
齋藤 洋子
梶原 洋子
小野 愛恵
年高窓会募金
櫻本 恵
吉富 晶子
川原 三泰
杉山るみ子
河原 重勝
市川 隆通
上野 主治

川西加代子 高田 善政 石松 幸男 井上 透 桐谷 泰幸 片山 幸子 安永 範孝 古屋 真吾 池田富美子 五郎丸 守 高田 芳昭

66回生 永野 秀治 中野貴久子 川原のぶ子 波多江隆幸 青木 進 山下 博司 石井志津子 宇土 健治 大橋 信午 岡尾 末子 徳重 久雄 穴見 健策 香川 壽 奥田賀代子 井手 憲子 木林 顕博 津田 仁 平松 秀敏 池辺とし子 松永 英助 天本 正昭 合原 明子 山内 房子 富永 滋夫 松田美千子 山田 芳江 西村 広志 山下 久和 杉村工三子 中山 利実 下川佳代子

佐藤 律子 井手 洋 吉住 英男 黒田きよみ 伊藤 絹子 波多江勝久 山本 恵美 野口 秀隆 穴井 和子 林 美知子 秋田リツ子 吉井 幸子 波多江隆幸 辻 良子 前崎 享一 郡田 純一 岩崎恵津子 平田美恵子 田平 礼子 進 末雄 藤原さよ子 松下 美夫 池 一穂 大野 民子 平山 泰子 津金沢淑味 東 陽子 古賀 清美 清田 昭 松野みづえ 大久保行雄 小山 由克 高城 克己 香月 節子 阿部るり子 小川 正義 神武 治城 村山 清道 森岡 博孝 大山 光子 矢野 久代 水口美枝子 古谷久美子

千原 雅義 的野 信行 折居 供徳 補永 静子 山内 憲一 波多江勝久 山本 恵美 酒井 美鈴 塩川加代子 吉武 節子 吉武より子 稲永 昇 西 裕子 嶋田 茂 浜島英利子 吉田能里夫 磯本 保 金澤 公夫 今村 慶子 今林 照公 佐々木美恵子 中村 康子 波多江みち子 山下 哲雄 猪野 忠孝 堺 和美 今泉 洋一 徳安 隆 志波 芳則 堺 博正 添田 敏夫 今崎 邦香 浦田三枝子 坂木 純一 山本 茂樹 渡口 俊介 野村 悦子 織田 春代 安武直次郎 有吉 雅子 里永 純二 合野 壽光 井上 敬子

古賀 敏子 山本 成行 赤坂 時子 坂本 員子 杉山 順子 樹 裕子 百田 康男 庄野 恵子 小山 勝敏 松本 幸子 森 啓子 山下多味子 吉村 親 折居 司 濱地 博道 河野はる美 徳重 富子 山下 紀久 池 まり子 中村 初子 竹崎 博明 坪井喜代美 青柳 利治 福田由紀子 柳原 正子 富田美恵子 今林加津江 渡 幹夫 山村 静子 末松 善明 折居 幹男 寺崎 裕幸 藤野 明美 増田 明美 森 誠二

68回生 藤本 浩吉 森中 周子 井上 廣子 松崎 恵子 木下 鈴子 牟田 學 藤岡 信子

上田 博 安武 修二 柴田 重徳 原田新五郎 福井由美子 飯田 重治 富永 嗣代 田中 弥生 田代 辰男 本司 豊作 徳永 節子 長 勝盛 藤木 直幸 佐藤 尚義 岩井田光義 横田 光孝 河村 勉 井本 裕一 吉田登志夫 金原美智子 杉山 幸夫 中嶋 一 長崎 早苗 蒲生 博子 泉 講次 奥田 文代 吉村 春代 岡崎 芳枝 富永 順久 69回生一同 角 桂子 伊東 輝世 松本 広子 安部 雪江 西原美喜枝 小野 勇夫 三角 豊和 柳橋 芳子 渡口 史郎 野上 誠 松本千代子

園田 和枝 藤野 正巳 二俣恵美子 橋北 郷子 安武 孝子 南原 茂 白岩富嗣子 村上喜三子 坂井 幸治 福原 政弘 井上 朋子 中洲 弘子 安永 節子 永翁 利成 林田三津子 吉村 昌子 安川 英一 高木 隆治 今泉 弘幸 浦崎 宣子 奥 肇子 八尋 俊幸 木庭しげ美 桑原 平磨 古賀美佐子 小林富美子 坂上恵美子 神宮玄一郎 世良 経子 谷下 豊子 虎谷 恵子 中山 忠之 野口 嘉孝 橋本 俊嗣 花田 幹代 馬場 弘子 肱岡 順子 肱岡 弘毅 前川 元子 松本 聖子

村田 知子 森 信次 森 久美子 柳 雄幸 山崎 京子 井上 敏喜 首藤 秀明 田中 経蔵 藤野 節子 山口 恵子 茶野 治子 城塚 玲子 西本美恵子 吉見 泰三 幾竹美和子 井上 悦子 荒川 千博 青木芙美子 三田 一恵 中嶋 玲子 竹島 政子 山本 瑞枝 小島 幸子 原田 昌子 松本 靖子 阿部 君代 浅見 智子 川嶋 智子 榑崎 勇司 平田 慎吾 西田 新治 渡 恭子 友岡美智子 松田いずみ 三船みえ子 甲斐万里子 鹿毛久美子 萩尾美恵子 梅野 陽子 川原 英之 木村 純子 清水 良子 古賀 正和

小城 優子 築後谷幸則 堀江 徹 吉村 俊之 関 賢二 矢野未子伸 後藤 正徳 田代 典子 山本やよい 溝口 忍 岡崎みさ子 久田 史規 舩越 一人 高江 毅 林 深雪 滝川みち子 酒井香代子 武谷 裕子 永井あけみ 白石 秀子 岩田千香子 安永 陽子 伊藤 靖子 阿部 君代 松尾 弘子 田上 京子 草原 恵子 小野 深雪 寺本 恵子 春野寿美子 花田 君子 坂井 千春 田代 恵子 安河内由美子 松下 由美子 柳 美栄 縫田真智子 三好 純子 大石 文子 日丸こずえ

道善 早苗 中園 良重 川村 敬子 古賀 政子 大和 薫 永尾 素子 上野三千男 青木 洋介 白水 清道 川上 睦美 若松美恵子 村上 雅洋 西嶋 伸次 藤原 千広 宮脇三和子 山崎 玲子 桐谷かほる 中村 慶子 遠山 英子 明永 恭子 日下 久美 小橋 桂一 佐藤 俊哉 中原 裕子 西島 明美 山本 明子 徳田美由紀 齋藤 智子 梶原 雅夫 佐伯 雅行 青木 政弘 森田 吉昭 渡辺 敦子 上野 由紀 田崎八洲子 松田香代子 西岡千鶴子 古賀みゆき 木村美穂子 松原 哲子 井手 忠信 林 心み子 清水 修

小林 純子 城戸利恵子 白木 新吾 益田敬縊子 安永佳代子 西嶋 伸二 平 京子 長舟 光之 松永 明 76回生一同 森 充子 米倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 伊藤 容子 古屋ひづる 平川知恵子 阿部幸代子 尾形 志子 小林 幸一 山崎 孝幸 石山久美子 栗原早百合 國府田ひろ子 重松 玲子 山田 由理 吉田真由美 今林千恵子 井上 尚子 星子須美江 古賀 洋子 許斐 弓美 入江 令子 木村 倫子 倉地 秋子 栗山 信浩

77回生 森 充子 米倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 伊藤 容子 古屋ひづる 平川知恵子 阿部幸代子 尾形 志子 小林 幸一 山崎 孝幸 石山久美子 栗原早百合 國府田ひろ子 重松 玲子 山田 由理 吉田真由美 今林千恵子 井上 尚子 星子須美江 古賀 洋子 許斐 弓美 入江 令子 木村 倫子 倉地 秋子 栗山 信浩

76回生 平 京子 長舟 光之 松永 明 76回生一同 森 充子 米倉 厚子 山名 博史 鳥飼 俊宏 鳥飼 悠子 平野貴美代 大塚 恵子 大野真寿美 貞弘多嘉子 伊藤 容子 古屋ひづる 平川知恵子 阿部幸代子 尾形 志子 小林 幸一 山崎 孝幸 石山久美子 栗原早百合 國府田ひろ子 重松 玲子 山田 由理 吉田真由美 今林千恵子 井上 尚子 星子須美江 古賀 洋子 許斐 弓美 入江 令子 木村 倫子 倉地 秋子 栗山 信浩

81回生 川越 多江
河崎 三砂
一木 栄子
渡辺美由紀
横尾 須美
江口 直秀
山崎さとみ
濱川 直子
上野多恵子
80回生 跡部 宗教
竹本まり子
79回生 桜木 和彦
高橋 裕子
市村さつき
森 峯子
平田 美志
秋吉 紀生
今橋さと美
池田 理恵
松尾 和彦
79回生 無津呂繁憲
塚田 悦子
前田 浩
古賀 政之
佐野木洋子
野村木乃美
狩野 昌子
浜 寛
松本 秀明
安部 幹子
78回生 松林由美子
近藤 正美
青木 和典
中村 徳子
木村千代子
日野 孝治
中本 真澄
永野由加里


82回生 原田 広海
中野久美子
平山康一郎
飯田 栄子
古川 清美
山元ゆかり
大賀 浩二
半田 節子
久常 良二
82回生 柴戸 幸司
児玉 博寿
83回生 富永 強
児玉 暁代
岡部ミユキ
林 博文
井上 寿一
84回生 野田範海意
田尻トモ工
山本 恭子
津田佐代子
村山 和博
山本 由美
浦上 健治
84回生 高橋希代子
85回生 85回生 一同
羽野 顕子
川口 由乃
86回生 池田小夜子
井上 清織
松尾千香子
榊 佳穂子
近藤 智弘
水上 泰孝
木坂 彰宏
桑満 茂
桜谷真由美

106回生 久原 佑介
林 麻希
野原亜裕未
長坂聡士郎
池田 優佳
豊田 晶
打越 隆誠
清田 創
101回生 山口 浩平
100回生 篠原 祥泰
98回生 吉田 康彦
97回生 馬場 由紀
94回生 安岡真紀子
森田 俊夫
石井 雅太
90回生 安松 朱美
羽野 幸子
菊池 忍
89回生 平山康一郎
88回生 87回生 一同
井上奈美子
鳥飼 希位
正木 詠子
中山 浩二
梅崎 直子
岡崎 孝徳
山田 裕介
87回生 藤原 秀徳
塚本 正和
瀬戸 恵子

前田 直紀
大崎 成彦
108回生 藤村 優
109回生 廣兼 宣幸
尾方 恵奈
大木田凌麻
別科 井上 睦巳
桜井 茂子
藤野 光枝
緒方アツ子
八丸恵巳子
吉田 益美
定時 大神 博
小林由希雄
中上美栄子

回生	金額	回生	金額	回生	金額	回生	金額
22		50	724,000	74	60,000	97	3,000
27		51	546,000	75	513,000	98	5,000
28		52	3,720,000	76	192,000	99	
29		53	927,000	77	132,000	100	5,000
30	40,000	54	437,000	78	100,000	101	5,000
31	20,000	55	851,000	79	125,000	102	
32	110,000	56	655,000	80	55,000	103	
33	10,000	57	670,000	81	30,000	104	
34	20,000	58	1,030,000	82	90,000	105	30,000
35	90,000	59	385,000	83	30,000	106	15,000
36	20,000	60	1,754,000	84	129,000	107	
37	30,000	61	600,000	85	105,000	108	5,000
38	80,000	62	525,000	86	150,000	109	20,000
39	3,260,000	63	275,000	87	140,000	別科	57,000
40	200,000	64	790,000	88	5,000	定時制	127,000
41	335,000	65	180,000	89	30,000	京阪神	60,000
42	170,000	66	815,000	90	5,000	陸上部	24,000
43	120,000	67	633,000	91	10,000	出光興産	500,000
44	203,000	68	285,000	92		福翔	60,000
45	140,000	69	310,000	93		不明	10,000
46	240,000	70	155,000	94	5,000		
47	92,500	71	70,000	95			
48	180,000	72	53,000	96			
49	270,000	73	251,000	総合計			25,103,500

平成25年3月31日現在 (単位:円)



株式会社 堀江本店

代表取締役社長 堀江 徹 (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL (092) 503-0121 (代)
FAX (092) 504-1219

おかげさまで35周年

玄海灘の磯の香りをそのまま直送



ぎよ さん 生け簀 魚 村

福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎(092)781-7388
代表取締役 日野孝治 (77回生)
<http://www.gyoson.jp/>
飲み放題付ご宴会コース 3,900円より



GENKI COMPANY

元氣印の企業紹介! vol.25

人生死ぬまでチャレンジ! シービーサービス

社長 進 末雄 (66回生)



昭和40年春、卓球大好き少年が福岡商業高校の門をくぐりました。

当時は、私立では博多高校、公立では福岡商業が卓球の強豪校で、父や兄の母校である福岡商業を迷わず選んでいました。

高校時代の思い出といえば、とにかく卓球に関係することばかりです。授業中なども練習のための体力温存とばかりに、居眠りばかりでよく先生からゲンコツをくらったのを思い出します。「目指せ! インターハイ」を合い言葉に頑張ってきましたが、残念ながら団体戦での出場はかきませんでした。それでも3年生最後の年、埼玉国体になんとか代表として出場することが出来て、高校生活の良い思い出となっています。

福岡大学を卒業後は、家業の印刷会社へ入りました。ところが2年目に父が亡くなり、24歳の若さで後を継ぐことになりました。なんと世間知らずの未熟者のことです。一生懸命頑張りましたが、10年後には設備投資の失敗が響いて経営不振に陥り、自主再建を断念。M&Aで合併先を探し最悪の倒産だけは免れましたが、父の作った会社を失ってしまいました。

しばらくは合併先の会社にお世話になりましたが、やはりもう一度挑戦してみたいという気持ちを抑えきれず、3年後に独立開業しました。

当時印刷業界に導入され始めていたコンピュータを一から勉強して、これを武器に自宅の6畳一間で印刷関連のサービスを始めました。今はやりの言葉で言えばベンチャービジネスですが、まあそんなにかっこ

いいものではありません。創業当時は福岡卓球部の地獄の練習よりは楽なもの、よく朝まで仕事をしました。

印刷業界はデジタル化という激流にのみ込まれ、押し流されていくところもある中で、新しモン好きな性格が幸いして、なんとか流されることなく、必死に時代の流れにしがみついていたのでした。

10年ほど前にインターネットが普及し始めたころ、独学で勉強して年賀状印刷のサイトを立ち上げました。ちょうど楽天市場がオープンして2~3年たったころです。当時は年賀状印刷と検索してもヒットするのは全国で3~4社しかなく、仲間からは「インターネットなんかで年賀状をたのむ人なんかいないからやめとけ」と言われたものですが、お陰様で今では弊社の柱の一つに育っています。

最近「電子ブック」のサイトを3年前に立ち上げ、また今年は「AR(拡張現実)」という最新技術にも挑戦しています。これは印刷物に刷り込んだ「マーカー」にスマホやタブレットをかざすと、動画などが再生されるという「紙媒体とデジタルの融合」を目指したこれからの新技術です。

今年で創業25年になりますが、人間いくつになっても新しいことにチャレンジする気持ちを持ち続け、決して大きいことは出来ませんが、これからも福岡商業で培った「熱・意気・力」を忘れずに、頑張っていきたいと思っています。

シービーサービス
〒810-0075
福岡市中央区港町2丁目10-21 大原ビル7F
TEL 092(713)28823

年賀状印刷 11月30日(金)まで早割 代金20% OFF

【お客様】システムを構築しました

昨年年度に「会員登録・メンバーシステム」を導入しましたが、多くのお客様から「分かりやすい」「面倒だ」とのお声のりも言葉でもお聞きしました。

そのお声も踏まえて今年度は昨年年度のシステムを廃止し、シンプルなお注文方法と修正のやり取りがメールで行うなど、分かりやすいシステムに変更しました。

せっかくIDやパスワード、会員情報を登録していただきましたお客様には、年末年始のごしませんか、ご注文時にお客さまのIDやパスワード、メンバーIDなどはご利用いただけます。ご迷惑がございませんので、ご了承ください。

ご注文時は長瀬先生住所や名前などの必要情報をご記入のうえ、ぜひ今年度もご注文

年賀状印刷サイト <http://www.cb-nenga.com>

電子ブック・電子カタログ制作

御社の実データから、無料でサンプルを作ります

電子ブックが優れている6つのポイント!

- ① 軽快に開閉
- ② 本をめくる感覚
- ③ 見開き表示
- ④ 全文検索
- ⑤ リンク機能
- ⑥ CDでの配布が可能

電子ブック作成サイト <http://www.cb-denshibook.com>

会館だより

母校生徒たちが来館

3月9日(土)東京(品川区)の「品川ファイナンスパーク」で開催される高校生の会社経営「SCP合同株式会社」に福岡市の高校生代表として、4人が出席の報告のため、顧問の江口先生とともに福商会に来館しました。

スチューデント・カンパニープログラム(SCP)の活動は、平成22年から取り組んでおり、年々発表の中身が高度化しております。また、全国高校生との交流も楽しみな大会になっています。福商会として全国大会出場に対して奨励金をわたして、大会での活躍を大いに期待しています。



二科展

寺崎 陽子さん (60 回生)

4月16日から4月24日までの間、福岡市美術館で開催された第97回二科展に100号の作品を出品されました。

今回の作品のテーマは「夢の二次加工～奇妙な音律」で二科会会員の寺崎さんから今年も福商会、さくら会に招待券をいただき、美術ファンの福商(翔)生らが開催期間中、大勢会場を訪れました。

昨年の二科展の作品が、平成25年6月9日に開催する、全国合同同窓会の大会プログラムとチケット表面に掲載されますのでご覧ください。

また、岩田屋コミュニティカレッジでは「油絵入門講座」を主宰されています。油絵に興味のある方は受講されますと寺崎さんから直接の指導が受けられます。



**第63回福商会
全国合同同窓会
の
ごあんない**

日時

平成25年6月9日(日)

会場

ホテルニューオータニ博多

福岡市中央区

渡辺通1丁目1-2

☎092(714)1111

第一部 式典

3階芙蓉の間

午後3時30分～4時30分

第一部 懇親会

4階鶴の間

午後5時～7時

会費

6000円

当番幹事 88回生(平成2年卒業)

お問い合わせは、福商会事務局まで

☎092(711)9890